

■加藤桜老 志士、儒学者。会沢正志斎・藤田東湖に師事して尊攘思想も事件連座、京都・山口で私塾開き藩士間を周旋した。

かとうおうろう

プロフニヲ拿捕 1811 = 水戸藩士佐藤政祥の子として生まれたが、
のち笠間藩士加藤惣蔵の養子となる。

水野忠成老中 1818 = 7歳 :

..... 1820 = 9歳 :

シボトノ鳴滝塾 1824 = 13歳 : 藩の儒学者森田桜園(藤田幽谷門)に就いて学ぶ。

シボトノ事件・ 1828 = 17歳 : 中小姓として出仕したが、儒学修業のため勤務を免除され、藩校時習館の都講となる。

シボトノ追放・ 1829 = 18歳 :

富籤流行・ 1830 = 19歳 : 水戸藩の会沢正志斎に入門、また藤田東湖の指導を受ける。この二人に指導を仰いだことにより、多くの有志と知り合いになり、また尊王攘夷の思想的影響を受けることになる。

大塩平八郎乱 1837 = 26歳 :

適塾ホブシ・ 1838 = 27歳 : 江戸に出、林述斎の門人となって昌平黌で学び、かたわら兵学と砲術とを清水赤城に、雅楽を東儀・山野井二家に、国学と神道とを平田篤胤に従学し、学問の範囲を広げて行く。

天保改革終・ 1844 = 33歳 : 藩主相続にからんで藩の重臣の専攻に対する抗争事件がおこり、この争いに加担したため、

阿部正弘首座 1845 = 34歳 :

..... 1847 = 36歳 :

尊徳報徳論・ 1851 = 40歳 : 藩から隠居命令を受ける。

ペリー来航・ 1853 = 42歳 :

松下村塾・ 1856 = 45歳 : *御旗前に私塾十三山書楼を開き門弟を教えたが、藩の内外から多くの人々はその門に集まった。

蕃書調所・ 1857 = 46歳 : *藩外出が許されたのを機に、水戸・土浦・江戸で志士と交わり、尊王攘夷運動に奔走、

桜田門外変・ 1860 = 49歳 : 来笠した高杉晋作とも知り合い、

8月18日政変 1863 = 52歳 : *<八月十八日の政変>によって京都を逃れ、長州藩に迎えられた。長州藩では藩校明倫館の教授、三条実美の秘書役、山口郊外で私塾を開き、水戸学を教えるなどする。

薩摩藩士密航 1865 = 54歳 :

明治維新・ 1868 = 57歳 : *役割の終わった維新後は、

軍務官御用掛・漢字所御用掛京都大学准中博士などを歴任、

学問のすすめ 1872 = 61歳 : 教部省に入り、

明治6年政変 1873 = 62歳 :

佐賀の乱・ 1874 = 63歳 :

安房神社少宮司・湊川神社権宮司・賀茂別雷神社少宮司など、神職の道を歩み、あわせて大講義を兼ねた。

沖縄県編入・ 1879 = 68歳 : 東京小石川富坂町に大同学会を創立、三光大同説を唱え、学神社を創立したが、

明治14年政変 1881 = 70歳 :

岩倉具視没・ 1883 = 72歳 :

秩父事件・ 1884 = 73歳 : 没した。

「一騎歌尽」「桜老詩艸」「學術論付道教論」「孝子蒙求」「詔武考」「大学講義」「藩兵備考」「文雅典宝」「扁鵲伝口授」など。